

Brown Bag Seminar



ブラウンバッグセミナー

録画期間限定公開
オンライン (Zoom)

2022.2.9 (水)

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

登録はこちら

日 ← 同時通訳 → 英

12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_AZ-xln4ZRe6NNYaD4wDrXg

昆虫食とワクチン

司会: Scott Valentine 教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)

昆虫は、4 億年以上前に出現して以来、地球上で最も繁栄し続けている生物で、実に 75 万種以上が記載されています。昆虫の持つ多様な環境への高度な適応能力、植物との密接な関連などから、昆虫は地球規模での環境保全を進める上でとても重要な研究対象となっています。今回は、日本の昆虫科学の拠点として九州大学が進めている研究のいくつかについてお話しいたします。特に、SDGs の目標 3 の「すべての人に健康と福祉を」に向けて、昆虫を使ったワクチンや医薬品などの組換えタンパク質の生産、そして、目標 2 「飢餓をゼロに」に関し、近未来に迫った世界の食糧危機解決の有力な候補として注目されている昆虫食について話題をご提供したいと思います。



日下部 宜宏 教授

九州大学 農学研究院

日下部教授は、1990年に九州大学大学院農学研究科農学専攻修士課程を修了し、明治乳業株式会社ヘルスサイエンス研究所に研究員として就任しました。その後、佐賀医科大学医学部の助手、米国ハーバード大学医学部の博士研究員、九州大学農学部の助手を経て、2011年より九州大学大学院農学研究院の教授となりました。2013年より、九州大学大学院農学研究院の遺伝子資源開発センター長となり、2018年からは、九州大学大学院農学研究院の昆虫科学・新産業創生研究センター長として在籍しています。また、2020年度からは、九州大学副学長として在籍しています。

